

よしおか

議会だより



群馬県吉岡町議会

No.118

2018.1.19



12月定例会

第4回定例会	南下城山防災公園事業に大幅補正	2
一般質問	8人が町政を問う	6
視察研修レポート	二元代表制の神髄を学ぶ ほか	15

「新春の青空に映える風力発電」
(説明19ページ)

吉岡町議会

検索



第4回 定例会

平成29年第4回定例会は、12月1日から12日まで、12日間の会期で行いました。定例会では、平成29年度補正予算など議案13件、諮問1件、委員会発議1件が提案され、すべて原案どおり可決しました。



補正

万円計上

一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億3010万円を追加し、総額80億858万円としました。

歳入の主な補正

(増額)	
国庫支出金	1億3833万円
南下城山防災公園整備事業補助金	1億1131万円
地域連携道路事業費(駒寄スマートIC)	2310万円
障がい者自立支援給付費	279万円
県支出金	689万円
医療福祉費	434万円
繰入金(財政調整基金より)	2890万円
町債	6870万円
南下城山防災公園整備事業	6870万円
(減額)	
鉄鋼スラグ補償金	332万円
南下古墳公園スラグ撤去工事の費用減による	
駒寄スマートIC大型車対応化事業に係る前橋市負担金	1077万円
国からの補助金の増額により負担金が減額	

歳出の主な補正

南下城山防災公園整備事業費	1億8000万円
国庫補助金の追加を受け、平成30年度予定の工事費を前倒しするもの	
駒寄スマートIC大型車対応化事業費	935万円
国庫補助金の追加を受け、平成30年度予定の補償費を前倒しするもの	
花と緑のぐんまづくり協議会負担金	800万円
まち支援部会負担金の増による	
道路維持補修工事費	400万円

一般会計補正予算 南下城山防災公園整備事業に大幅

可決 1億8000

南下城山防災公園

本会議 質疑

問 町債の、同公園整備事業6870万円

の補正により、完了する工事はどこまで進むか。

答 来年度末の完成をめざして、工事をしていく。予算については今回の補正で概算上は完了する予定。

委員会 審査

問 緊急防災・減災事業債（同公園整備事業）に6870万円の増額は。

答 来年度の国庫補助金の前倒し枠を確保するために補正し、その不足分を町債で充てた。

問 来年度完成をめざすというが、進捗よく状況は。

答 予算ベースで現在80%進んでいる。

鉄鋼スラグ補償金

本会議 質疑

問 同補償金332万円が減額となったのはなぜか。

答 残土処分量が見込みより減ったため。工事実績の費用を補償費としていただくことになっている。

委員会 審査

問 332万円の減額は。

答 古墳公園舗装工事に実際にかかった費用を、大同特殊鋼に弁償してもらう。当初予定よりスラグ碎石搬出量の減と、入札額の減

で332万円の減額となった。

問 スラグ碎石はどの程度撤去できたのか。また、20年30年後の安全を見すえ協定を結ぶ必要があるのでは。

答 水質汚染がないため、深さ7センチまでを撤去。粘り強く交渉したい。そのほか、町内17カ所についても申し入れている。

花と緑のぐんまづくり

本会議 質疑

問 負担金が800万円追加され、総額1500万円になるが、最終のまちの持ち出しはどのくらいか。

答 予算の範囲内でやってくる。

委員会 審査

問 吉岡町商工会が企業団体に協賛金の募集をしているが、県商工会もしているのか。

答 県は独自に大企業向けに募っている。

問 目標来場者数を6万人に設定しているが、もっと多くの集客をめざしていいのでは。

答 目標設定にとらわれず、最大限できるように力を注ぎたい。

花と緑のぐんまづくり
関連記事 ↓ P.11



イベントで賑わうステージ

老人福祉センター

指定管理者決まる

吉岡町老人福祉センター（愛称「いこいの家八幡」）の指定管理者は、社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会（社協）に決定しました。

社協は、過去20年間、吉岡町老人福祉センターの運営管理に携わっ

てきました。その間、町民の福祉の向上のために、さまざまな福祉事業を展開し、創意工夫を持って福祉拠点の運営に万全を期してきました。

今後も、これまで蓄積してきたノウハウをさらに生かし、新たな

利用者の声も取り入れながら、より充実したサービスや運営に努め、まちの地域福祉活動の拠点となることを期待されます。

指定の期間は、平成30年度から5年間となります。



地域福祉活動の拠点として期待される



はつらつ体操で元気いっぱい

委員会発議

		件名	提出者	結果
発委	第4号	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出	産業建設常任委員会 委員長 平形 薫	可決 全会一致

「市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書」

発委第4号

委員会審査報告



産業建設常任委員長
平形 薫 議員

現在の地域高規格道路や交付金事業の補助率の高上げ規定は、本年度までの時限措置。地方創生に全力で取り組む町村にとって、補助率などの低減は死活問題。よって、市町村道路整備事業が計画的に進むよう、必要な交付金予算の持続的な確保と、長期的に道路整備が進められるよう、高上げ措置の継続を求めます。

12月

平成29年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億3010万円	80億 858万円
公共下水道事業	2万円	4億 570万円
国民健康保険事業	▲611万円	23億7598万円
農業集落排水事業	▲17万円	1億6869万円
介護保険事業	▲5577万円	14億2483万円
後期高齢者医療事業	188万円	1億7516万円
水道事業会計		
収益的収支	38万円	4億 282万円
資本的収支	1万円	2億5700万円

人権擁護委員に越石真理子さん(陣場・61歳)を推薦する町長の諮問に対し、議会は全会一致で適任と認め答申しました。



人権擁護委員 越石真理子さん

人権擁護委員に越石真理子さん(陣場・61歳)を推薦する町長の諮問に対し、議会は全会一致で適任と認め答申しました。

発活動などを行います。任期は3年です。

賛否一覧

議員名	結果		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	賛	反	富岡	大林	金谷	五十嵐	柴崎	竹内	高山	村越	坂田	飯島	岩崎	平形	山畑	小池	岸	馬場
議案名	成	対	大志	裕子	康弘	善一	一郎	憲明	武尚	哲夫	一広	衛	信幸	薫	祐男	春雄	祐次	周二
諮問 第3号 人権擁護委員候補者の推薦…上記参照	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	第43号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正…子が1歳6カ月に達するまでとされている非常勤職員の育児休業期間を2歳に達するまでに延長するもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第44号 税条例の一部改正…地方税法等の一部改正による語句の改正など	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第45号 防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部改正…新規設置場所の追加など	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第46号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正…介護保険法等の一部改正で、認知症に係る規定が細分化されたことによるもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第47号 老人福祉センターに係る指定管理者の指定…4ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第48号 洪川地区広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議…広域組合の議員の定数を削減するため、規約変更するもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第49号 平成29年度一般会計補正予算…2・3ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第50号 平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第51号 平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第52号 平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第53号 平成29年度介護保険事業特別会計補正予算…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第54号 平成29年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号 平成29年度水道事業会計補正予算…上記参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発委 第4号 市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出…4ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「-」で表示

一般質問

議員 8 人

町政を問う

1 2月定例会の一般質問は
4日および5日に行われました。
紙面の都合により要約してお伝えします。
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある
会議録で確認できます。
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した
議案と関係なく、まちの行政全般にわたって、
議員個人が執行機関に質問し、
見解を求めるものです。
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、
1人60分以内の持ち時間があります。

■金谷 康弘議員（7ページ）

1. 観光関連
2. 保育関連
3. 地域関連

■柴崎 徳一郎議員（8ページ）

1. 循環型まちづくりへの展望は
2. まちの観光振興策は

■平形 薫議員（9ページ）

1. ふるさと納税について
2. 企業版ふるさと納税について
3. ホームページリニューアルについて
4. 文科省の部活動指導員制度について

■富岡 大志議員（10ページ）

1. 小中学校の理科実験に関して
2. 保育園・幼稚園の災害対応に関して
3. 学校図書館・吉岡町図書館に関して

■岸 祐次議員（11ページ）

1. まちの財政状態について
2. 「花と緑のぐんまづくり」について
3. 高齢者社会の現状と改善策について

■五十嵐 善一議員（12ページ）

1. 未来を見据えたまちづくりについて
2. 高齢者支援について
3. 小中学校におけるコミュニティ・スクールの導入について
4. 子ども・子育て支援について

■小池 春雄議員（13ページ）

1. 機構改革
2. 子育て支援策
3. まち広報の配布実態

■大林 裕子議員（14ページ）

1. 子どもたちをめぐる諸問題について

インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索



伊香保観光客の吉岡町への取り込みを



かなや やすひろ
金谷 康弘 議員

答 計画仕組みづくりへの参画が重要

問 年間100万人を超える、伊香保温泉観光客を、どうまちへ取り込むか。

答 町長 計画・仕組みづくりへの参画が重要、観光トライアングル・再発見ウォークの組み合わせで、観光客の呼び込みにつな

問 げたい。

答 「渋川、伊香保、吉岡観光トライアングル」の今後は、町長 総合計画の計画期間中は、継続して今の方針に磨きをかける。

問 伊香保を拠点とした寺院は、今後温

泉宿泊客増に期待が持てる。このインバウンドを、どうまちへ取り込むか。

吉岡渋川榛東で船尾滝の観光開発を

答 産業建設課長 榛名東麓で楽しんでいけるような、観光地の造成が重要であると考ええる。

答 どのような取り組みができるか検討

問 吉岡・渋川・榛東の3市町村での船尾滝を核とした観光開発を。

答 産業建設課長 船尾滝を際立たせるには、周辺市町村を巻き込んだ体制づくり、市町村を超えた周辺施設との連携による相乗効果が重要。どのような取り組みができるか検討。

問 たい人の会員が相互援助活動し、仕事と育児の両立できる環境を整備する。

問 その支援体制は。

答 健康福祉課長 運営費から利用者負担を引いた額に、国・県補助金3分の2の残金を3市町村で人口割り。

問 その活用状況は。

答 健康福祉課長 平成28年度は渋川市321件、榛東村5件、吉岡町81件。

問 病児保育、病後児保育の活動状況は。

答 健康福祉課長 平成28年度は町内55件、町外14件。

答 健康福祉課長 保護者の子育てと就労の両立を支援。病気の回復期であり、集団保育の困難な乳幼児の健全な育成と、資質の向上に寄与するために、町内の小児科へ委託。

問 その支援体制は。

答 健康福祉課長 事業に係る県の基準額から利用者負担を引いた額に県の3分の1の補助を受け、残りをまちが負担。

問 その活用状況は。

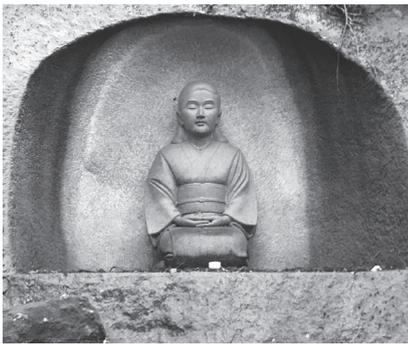
答 健康福祉課長 平成28年度は町内55件、町外14件。

問 町内のサイクリングロード脇の竹藪、建設資材は。

答 町長 建設資材は所有者に撤去依頼。竹藪は来春の「花と緑のぐんまづくり」に向け一部伐採を検討中。



通行止めでお参りできない船尾観音像
いち早い観光開発を



観音像脇の静思像



しばさき とくいちろう 柴崎 徳一郎 議員

「雑がみリサイクル」を始めてみませんか

答 広域組合に意見として上げたい

問 紙ごみ対応で「雑がみリサイクル」を始めてみてはどうか。

答 町民生活課長 広域圏振興整備組合の協議の中に「雑がみ」の取り扱いについて、意見として上げたい。また、町内資源、ゴミ回収事業として住民に

周知。

問 広域圏清掃センターの、ごみ焼却処理施設の耐用年数は。

答 町民生活課長 平成35年度までは対応可能。その後は、オーバーホール工事で延命措置など対応。



ごみ収集所のより良い環境保全が望まれる

問 小野上最終処分場の埋め立て期間と順番は。

答 町長 指針では、15年。既に3年経過で、次は、吉岡町の当番。

問 町内ゴミの年間排出量の推移は。

答 町民生活課長 人口増加とともに、今後も上昇傾向。

問 ゴミの収集作業員らの意見も聞いては。

答 町民生活課長 今後、各方面からの

意見聴取で、より良い環境が保たれるよう対応。

問 各家庭の食品ロス

答 町民生活課長 ※リデュースの推進など減量化策を周知。

問 町内のゴミ収集所の数は。

答 町民生活課長 現在255カ所。

問 マナーアップ週間事業の改善は。

答 町民生活課長 見直しも必要か。環

境美化推進協議会で検討。

問 学校給食での食品ロス(残食量)推移は。

答 教育委員会事務局 長 現在、減少傾向。

問 船尾滝周辺の立ち入り禁止解除のめどは。

答 産業建設課長 来年度県要望で協議・調査したい。

問 静思像・船尾観音像、周辺の管理状況は。

答 産業建設課長 立ち入り禁止のため、管理が行き届かない。

問 船尾自然公園パーベキュー広場に大型テントの設置を。

三二解説

※リデュース
ゴミになるものを拒むこと

問 3校児童生徒らの給食に対する声は。

答 教育委員会事務局 長 アンケートで「給食大好き・好き」が77%など、おおむね好評。

問 船尾滝周辺の立ち入り禁止解除は

答 町長 随時修理しながら、安心な施設対策をとりたい。

問 道の駅よしか温泉の今後の活気策は。

答 町長 振興公社・物産館で、いつもの協力関係のもと、関係諸団体と連携し、観光拠点化に盛り上げられるよう、まちも援助。

答 来年度県要望で協議したい

船尾滝周辺への立ち入り禁止解除は



ひらかた 平形 におおる 薫 議員

ふるさと納税の収支が赤字だが

町外から獲得する金額を増やす

問 寄付受け入れ額を税控除額が上回る

答 財務課長 町外に寄付される金額

が多い状況が2年続く。町外から獲得する金額を増やしたい。

問 平成28年度の寄付件数は27件で、本年度は現在まで266件と飛躍的に伸びているが、要因は。

答 財務課長 4月から、インターネット

による申し込みの開始や、魅力ある返礼品への取り組みの成果。来年度に向けての取り組みは。

問 財務課長 着実に増えた返礼品のラインアップが、町外の人々の目に触れる機会を、今以上に増やしたい。

答 財務課長 品物と差別化した返礼品の工夫は。

問 財務課長 品物と差別化した返礼品の工夫は。

という形ではない、まちらしい特色のある事業への使い道を示すことも重要。

問 企業版ふるさと納税の経緯は。文化財事務所移転工事への充当は。

答 総務政策課長 昨年度末に内閣府から、まちの地域再生計画の認定があり、(株)マダ電機から3千万円の寄付申出書を受けた。工事完了後、寄付を受領する予定。そのほかに個人からの寄付1700万円も充てる。



吉岡町にふるさと納税を

ホームページ

HPにある「ご意見・ご要望」の公開は

問 高崎市や前橋市のHPにあるような「市長への手紙」をまねできないか。

答 総務政策課長 公開については、課題も多く慎重に検討。

問 HPRリニューアル後の評判は。

答 町長 総アクセス数が2万件増え、見やすく分かりやすいと認知されたと考える。

問 ツイッターやフェイスブックなどのSNSの活用は。

答 教育長 部活動指導員は、学校職員として任用される。

問 既存のスポーツエキスパート事業の外部指導者とは違うのか。

答 教育長 部活動指導員は、学校職員として任用される。

ミニ解説

- ※1 SNS ソーシャルネットワークサービスの略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス
- ※2 部活動指導員 学校職員に準じて部活動の指導や引率ができる職員
- ※3 スポーツエキスパート 中学の部活動を専門的に指導する外部講師



とみおか たいし
富岡 大志 議員

理科教育設備 整備費等補助金 の活用を

答 今後必要な備品 などで活用も検討

問 文部科学省は、理科教育を実施するための設備の整備事業を行う場合、その経費の一部を「理科教育設備整備費等補助金」で補助している。小中学校に案内し、実験機器の整備に、この補助金の積極的な活用を。

答 教育委員会事務局 長 今後、指導要領改訂にともない必要になる備品などは、計画的に整備し、「理科教育設備整備費等補助金」の活用も検討。
問 基本的な実験機器の操作を理解するために、回数を増やす、



補助金の活用により、実験機器の計画的な整備を
(双眼実体顕微鏡)

1人で操作する機会の拡充が重要では。
答 教育委員会事務局 長 次期学習指導要領でめざす内容を理

解し、授業改善に取り組むとともに、今後必要な実験機器などの整備に努めたい。

ヘルプカードの導入を

答 今のところ検討はしていない

問 ヘルプカードとは、自身の障がい状況の説明が困難な人が、緊急時や災害時などに、支援を求めるとともに活用するもの。まちな導

入してはどうか。
答 町民生活課長 災害時には「災害時避難行動要支援者名簿」をもとに対応。ヘルプカードに近い対応

になる。
健康福祉課長 導入について今のところ検討はしていない。

問 甚大な災害や震災が発生した場合の、保育園や幼稚園への具体的な対応は。園児が帰宅できなくなり宿泊対応をとることも想定できる。保存食などの支援については、どのように考えるか。

答 町民生活課長 各保育園・幼稚園と協定を締結している。災害時には必要な食料、支援物資の供給、健康に関する管理など、互いに協力していくことになる。避難所と同様の対応をしていきたい。

問 吉岡町図書館の、今後の「レファレンスサービスの充実」に対して、具体的には、どのようなことを考えているか。

答 教育委員会事務局 長 相互貸借制度の利用、「協力レファレンスサービス」で他館の協力を求めるなど、利用者の要望に寄り添っていくことを考えて対応。本を愛し、図書館機能の可能性を熟知した職員をより多く配置することにより、サービス向上につなげる。

三三解説

※レファレンスサービス

学習・研究活動をすすめるために、情報を求めてきた個々の利用者に対して、図書館員が必要な資料や情報を効率的に提供するサービス



岸 祐次 議員

まちの財政は健全か

答 いずれの指標も早期健全化基準内

問 まちの財政状態は、健全か。

答 町長 人口増による税収が堅調に増加し、財政力は上昇傾向にある。^{※1} 財政健全化判断比率は、いずれの指標も^{※2} 早期健全化基準内で、健全と認識。^{※3}

問 経常収支比率が上がった要因は。

答 財務課長 地方消費税交付金や普通交付税の減が挙げられる。

問 人件費の今後の取り組みは。

答 総務政策課長 現在、全事務事業の経費・人件費・職員数などの^{※4} 事務事業棚卸

調査業務に取り組んでいる。組織機構の再編成も今後検討。

問 電算システム共同化による経費削減は。

「花と緑のぐんまづくり」の開催期間は

答 来春4月14日から1カ月間

問 「花と緑のぐんまづくり」の基本計画は。

答 町長 会期は、平成30年4月14日(土)から5月13日(日)までの1カ月間。メイン会場は吉岡町役場周辺、サテライト会場は、道の駅「よしおか温泉」、ふれあい処は船尾自然公園を予定。

問 子どもたちと連携した「花育」は。

答 産業建設課長 開催テーマは「とも

に育てる花と緑の交流のまち」。子どもたちは「花育」教室を通じ

答 総務政策課長 電子計算費の削減や業務改革には、^{※5} 自治体クラウド導入への取り組みとなる。群馬県や町村会への提言を検討。

て、優しさと思いやりある心を持つてもらえれば。

問 南下城山防災公園の花と緑づくりの将来構想は。

答 産業建設課長 まちの「基幹的な公園」として歴史性や優れた眺望を生かしつつ、防災機能も有する公園として現在整備中。緑の核としてふさわしい拠点づくり、四季を通じて花木を楽しめる空間づくり、広域からの利用も想定した拠点の形成をめざしている。

問 「花と緑のぐんまづくり」を契機に、花壇苗資材費補助金の制定は。

答 産業建設課長 この開催を機会に調査研究をしたい。

問 高齢者の交流の場

に、安価で楽しめるスナックの設置は。

答 健康福祉課長 高齢者のサロン事業として、今後の検討課題。

問 高齢者の健康維持のため、新たな散歩道の設置やガイドの作成は。

答 健康福祉課長 設置や作成が必要と考える。

ミニ解説

- ※1 財政健全化判断比率 財政運営の悪化の度合いを示すものなどの財政指標の総称
- ※2 早期健全化基準 地方公共団体の財政の健全化が必要とされる基準
- ※3 経常収支比率 地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、数値が低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くなる
- ※4 事務事業棚卸調査業務 全事務事業のコストや業務量などを調査し、適正な業務執行体制構築を目的とした基礎資料を作成するもの
- ※5 自治体クラウド 自庁舎での情報システムの管理・運用に代えて、外部のデータセンターを利用するもの



ふるさとキラキラ応援フェスティバル 2017秋のハンギングバスケット教室



いがらしよしかず 五十嵐善一 議員

よしおか温泉 一帯の未来図は

答 長期的展望 に立ち 施策を推進



さらなる振興策が望まれるリバートピアよしおか一帯

問 リバートピアよしおか一帯の、さらなる振興策を。

答 町長 着地型観光拠点として、ほかの道の駅との差別化をはかりつつ、長期的展望に立ち施策を推進。電気自動車用充電スタンドの現状と

問 今後の対応策は。

答 産業建設課長 町内に7カ所ある。今後は電気自動車の普及率や技術革新を注視。国や県の動向を見ながら検討。

問 再犯率の高い高齢者への地域支援策は。

答 町長 保護司や更生保護女性会と連携し、協力雇用主へ就業支援などを働きかけ。生活困窮者などには、関係機関と協力して支援を実施。

問 高齢者の引きこもりや、孤独死の増加に対するまちの対策は。

答 健康福祉課長 「ひとり暮らし高齢者基礎調査」で把握した

問 高齢者の多剤併用の弊害などへの、意識啓発策などの考えは。

答 健康福祉課長 国・民健康保険証更新時配付のパンフレットで、薬のもらい過ぎなどの注意喚起を行い、

三二解説

※1 地域調剤情報共有システム
クラウドコンピューティングシステムを活用して住民の服薬情報を一元管理するもの

※2 コミュニティ・スクール
学校運営協議会制度を導入する学校を指し、地域との連携・協働体制が組織的・持続的に確立される

問 診療報酬明細書の2次点検で、医療費の無駄遣いのチェックを実施。地域調剤情報共有システム導入の

答 健康福祉課長 現時点での導入は考えていない。

コミュニティ・スクール導入の道筋は

答 県内の状況を見ながら検討

問 小中学校のコミュニティ・スクールの現状と、実現への道筋は。

問 子宮頸がんワクチン接種問題への、その後の対応は。

答 町長 個々の相談者には、その人に合った情報提供で対応。

答 教育長 学校運営協議会は未設置だが、学校評議員制度や学校支援センターを設置して、学校と地域の連携を密にしている。県内状況を見ながら、今後導入を検討。

問 子どもへの子宮頸がん定期検診導入の考えは。

答 健康福祉課長 導入には格段の配慮と、十分な検討が必要。



こいけ はるお
小池 春雄 議員

時代に即し 機構改革^{※1}を

答 新たな組織のあり方を慎重に検討

問 まちの行政機構は改編以来10年以上経過している。

この10年は激動の10年で、インターネットの普及や少子高齢化の波は、私たちの想像を上回る早さであった。子育ての問題では、保育園に入れられず、全国的な大きな問題となっている。まちはこの問題をクリアしているが、生産人口が増えているので、安心できる問題ではない。高齢化対策は大きな課題。団塊の世代といわれる人たちが、後期高齢者となり、高齢者対策は大きな課題。



今後の機構改革が期待される（役場庁舎内）

このような状況を考え、時代に即した行政機構改革が必要では。

答 町長 全庁的な機構改革をしてから、10年が経過。当時、17の課・局・係であったものを、現在の9の課・局に統合。係制であったものを室制に改編し、分掌する事務も再編統合した。

この間、室の統合・分割などで職員の配置の見直し、各所属間における事務事業の追加や、移動などを行った。これまでの行政運営から脱却し、社会・経済情勢の変化にあった、新たな組織のあり方が重要。慎重に検討し、今後対応。

この間、室の統合・分割などで職員の配置の見直し、各所属間における事務事業の追加や、移動などを行った。これまでの行政運営から脱却し、社会・経済情勢の変化にあった、新たな組織のあり方が重要。慎重に検討し、今後対応。

^{※2}
答 さらに支援サービス強化

問 核家族化の時代にあり、子どもを持つ人、これから持つ人、子育てはたいへん。子育て支援で子育てコンシェルジュを置いている町村が増えている。まちでも検討を。

答 町民生活課長 自治会では、しっかりと配布をしている。現在役場の窓口にも備えてあるが、そのほかの公共施設にも同様の対応はできると考えて、関係部署と検討。

問 健康福祉課長 同僚を既に設置しているが、さらに支援サービスにつながるよう強化していく。

答 全戸にまちの広報誌などは届いているか。届いていなければ改善をはかる必要がある。

三二解説

※1 機構改革

行政活動が適正に実施されるよう、質的・量的上限に応じて、人員や組織を再編する改革

※2 子育てコンシェルジュ

子育ての悩みや困りごとについて一緒に考え、必要な子育て支援サービスにつながるサポートをする職



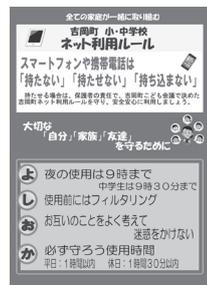
おおばやし ゆうこ
大林 裕子 議員

「ネット利用ルール」の活用を

子ども会議で検討

問 SNSなどの危険から子どもたちを守るため、使い方を啓発する必要がありますかと思うが。

答 教育委員会事務局 長 スマホやインターネット利用の正し



積極的に活用を

問 保護者やまち全体に「ネット利用ルール」を周知するため、まち広報誌に掲載する考えは。

答 教育委員会事務局 長 保護者へは、

問 「吉岡町子ども会議」で作られた「ネット利用ルール」を、繰り返し再確認するなど、積極的に活用すべきでは。

答 教育委員会事務局 長 子ども会議などで検討。

い知識などを講習会で啓発。

ミニ解説

※1 吉岡町子ども会議
吉中生徒会、明小駒小児童会
※2 スマホ用匿名相談アプリ

ネットいじめやSNS上のトラブルを、匿名で管理者に相談できるアプリで情報と学校名、学年が管理者に伝わる

答 教育委員会事務局 長 平成31年度に着工し、完成をめざす。

問 駒小体育館建て替えの計画は。

答 教育委員会事務局 長

問 中学校の教室不足への対策は。

答 教育長 平成34年度に不足する心配あり。

問 学校の相談体制の充実が基本。

答 教育委員会事務局 長

問 スマホ用匿名相談アプリの使用の考えは。

答 教育委員会事務局 長

ネット利用リーフレットを配布。まち全体の啓発には、ホームページに掲載。

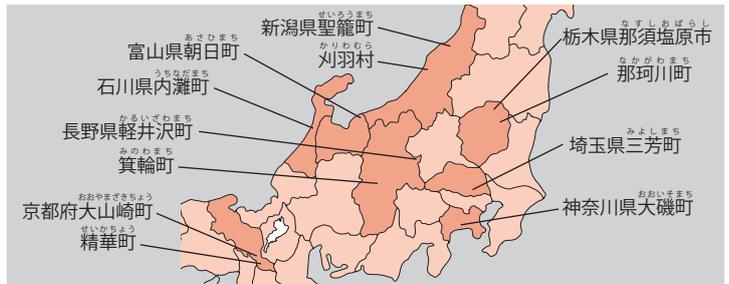
第3回臨時会賛否一覽

議員名	結果		議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	賛成	反対		富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	小池春雄	岸祐次	馬場周二
承認 第4号	平成29年度一般会計補正予算に係る専決処分の報告と承認…衆議院議員総選挙の執行経費が生じたため	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	第56号	職員の給与に関する条例等の一部改正…勤勉手当の支給率及び職員給料表の水準の引上げ、扶養手当の見直しに係る改正など	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	第57号	特別職の職員の給与及び旅費支給条例の一部改正…職員の給与と改定に準じ、期末手当を引上げる	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	第58号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正…職員の給与と改定に準じ、期末手当を引上げる	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	第59号	平成29年度一般会計補正予算…給与と改定に伴い、6722万円を増額し、総額を77億7848万円に改める	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	第60号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算…給与と改定に伴い、11万円を増額し、総額を4億569万円に改める	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	第61号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算…給与と改定に伴い、15万円を増額し、総額を1億6886万円に改める	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
第62号	平成29年度水道事業会計補正予算…給与と改定に伴い、収益的支出を28万円増額し、資本的支出を5万円増額する	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「-」で表示



視察研修 レポート



県町村議会議員研修会

二元代表制の神髄を学ぶ

群馬県町村議会議長会主

がありました。

催の町村議会議員研修
会が、10月27日に吉岡
町文化センターで開催
されました。

次に、食生活ジャー

ナリスト佐藤達夫氏の
「健康寿命を延ばすため
の食生活」と題した講
演では、科学に裏付け

最初に、東京大学名
誉教授の大森彌氏によ
る、「二元代表制の神髄」
と題した講演がありま
した。議会の存在理由

を示すには「チーム議
会」の実現が必要であ
り、議員間の討論とそ
の集約こそが議会の本
質であることなどの話

今後の議会活動・議
員活動に生かしていこ
うと思います。

(議長 馬場 周二)



群馬県町村議会研修会の様子

議会広報常任委員会

全国町村議会 広報研修会

東京都

「住民と議会を結ぶ
よりよい議会広報
について学ぶ」

自分本位で格好良く文
章を作るのではなく、
読み手本位で理解しや
すくが基本であると言
うことです。

芳野政明氏による、
コンクールで受賞した
議会だよりのクリニッ

9月28日、東京
シエンバツハ・サポー
で、全国町村議会広報
研修会が行われました。

クでは、吉岡町議会だ
よりの是正のヒントが
得られました。

小田順子氏の「伝え
る広報」から「伝わる
広報」として、①見や
すく②読みやすく③わ

今後いっそう、住民
に親しまれ、読みやす
い広報づくりに生かし
ます。

(委員長 金谷 康弘)



よりよい議会だよりのために

群馬県町村議会 広報研修会

前橋市

「住民とともに歩み
信頼される議会へ」

11月15日市町村会館
で、芳野政明氏による
議会広報研修会があり
ました。

「議会広報その役割」
として、行政も議会も
住民とのかかわりあい
を抜きに成り立たない、
住民とのつながり・参
加・協働を紡いでいく。
広聴活動で住民の意見・
要望を把握し、議会に
反映させる。広報で議
事公開を徹底、住民の
自治体への関心を高め
る。読者の立場に立つ
た編集で、読みたくな
る「議会だより」の編
集でした。

(委員長 金谷 康弘)

今後の広報づくりに
生かしていきたいと思
います。

議会運営委員会

長野県

議会報告会について学ぶ

議会運営委員会では、10月5日に長野県軽井沢町、6日には、箕輪町へ、「議会報告会」について、視察研修を行いました。

軽井沢町議会では、開かれた議会・信頼される議会をめざし、「議会報告会開催要領」を制定。町内3会場で「議会とまちづくりを語る会」を開催していました。

箕輪町議会では、町民と議会の意見交換会を開き、最近「ワークショップ形式」に変更しました。

また、「中学生や女性の模擬



開かれた議会への取り組みについて説明を受ける（軽井沢町議会）

議会改革推進特別委員会

埼玉県・神奈川県

議会改革の先進地に学ぶ

10月16・17日の2日間、埼玉県三芳町議会と神奈川県大磯町議会と視察研修を行いました。

三芳町議会では、平成19年の議会選挙をきっかけに、議会の改革が始まったようです。

夜間議会、日曜議会のそれぞれの開催、住民との意見交換の実施。平成22年には、議会基本条例および議員政治倫理条例を策定・公布施行しましたが、インターネット

の普及により、夜間議会・日曜議会はそれぞれ廃止とのことでした。

大磯町議会でも同じような問題に苦慮しているように見えます。わが議会での対応の策を考えていきたいです。



大磯町議会で議会活性化の研修

産業建設常任委員会

栃木県

小水力・バイオマス発電を学ぶ

10月24・25日、栃木県内の2カ所で視察研修を行いました。

那須野ヶ原土地改良区連合は、栃木県が再生可能エネルギービジネスモデル創造特区の指定を受けたことから、農業用水を利用した小水力発電に取り組んでいて、6カ所に発電所を保有していました。

用水路を堰き止めるように設置された、出力30キロワットの発電機を見学しました。

県北木材協同組合那珂川工場内に設置されたバイオマス発電所では、大量の廃材や木くずをチップ化して燃

やし、出力2500キロワットの蒸気発電を行っていました。排蒸気は、地元産業であるウナギの養殖などへ供給されていました。

再生可能エネルギーへの取り組みが、地域の発展につながることを知る機会となりました。



小水力発電を見学（那須野ヶ原土地改良区連合）

（委員長 平形 薫）

聖籠中学校のNIEの 取り組みを視察

10月30日・31日の2日間、新潟県聖籠町の聖籠中学校と刈羽村で視察研修を行ってきました。

聖籠中学校のNIEの取り組みについては、平成28年に県より実践協力校の指定を受けて、2年間で取り組んでいきました。毎朝

朝活動と称し授業の前の10分間を利用して、新聞記事を読み、感想を書くものですが、書く力が大きく伸びたそうです。



NIEは新聞を学校教育に取り入れる活動

自転車によるまちおこし

内灘町は石川県のほぼ中央に位置し、西に日本海、東に河北潟を擁する砂丘の上に築かれたまちです。内灘町を起点に羽咋市まで、全長33・6キロの自転車専用道路が整備されています。吉岡町でも東京へと続くサイクリング道路があり、まちの活性化のためのヒントがあります。

朝日町は富山県の東端に位置し、日本海に面し、東南部は北アルプスがそびえています。私たちの視察に町長が



内灘町にある石川県立自転車競技場

予算決算審査の先進地に学ぶ

京都府大山崎町議会では、副議長、正副予算決算常任委員長が対応してくれました。予算決算常任委員会は、議長、監査員を除く全員で、一般会計、特別会計を審査しています。質疑の方法は吉岡町も同じですが、5日間かけて審査を細かくして参考となりました。

京都府精華町は、6年前に視察をした経過もあります。前回大変参考になり、どのように進歩しているかと、想像しながら行きました。目新しいところは、「事業事務評価シート」による



効果的な審査について研修（大山崎町議会）

まちの散歩道

100



私の趣味はコミュニケーションです。心通じる仲間や家族とのおしゃべりはこの上なく

コミュニケーション

星野 昌明さん（大久保寺下）

楽しいものです。美味しいお酒や食べ物が一緒なら尚更なおさらのことです。

おしゃべりを人生の楽しみとする上で大切だと思っているのは、何も考えずに無邪気にしゃべることだと思っています。演じてしゃべ

べっていたのでは、疲れるだけで益はないように思われます。

おしゃべりが高じて、人以外にも、田畑の野菜や稲、愛用の道具や服などとも無言で、心で、話をしてしまっています。それらと交流して思うのは、言葉がない

と嘘がつけないなどということですね。直じかに伝わってしまいますので、人と言葉を使つてしゃべつても同じようにハートtoハートでいきたいなと思っています。

知りたかった。そこは、そうだよ、もっと工夫しないと、活性化は進まない、先進地をもつと学ばないと」など、テレビ画面を観ながら2人で盛り上がり、いつの間にか力が入って、観終わった時には疲れて、「ふっ」。



健康祭りに思う



福田 清さん
（漆原西）

過日、吉岡町の健康

祭りが開催され、スタッフの一員として参加しました。高齢者社会が進行する現在、健康寿命の延伸や健康維持促進のために、自分自身の健康状態や測定数値を把握しておく事が大切だと思えました。今回初めて開催された健康祭りは、6ブースに分かれて短時間の中で実施され、それぞれのブースが特徴を持ち、スタンプラリーとともに行われ、大変好評だったと思います。私が一番印象に残ったのは、子ども連れの若い御夫婦が多かったことです。今後、色々検討しながら第2回以降が開催される事を期待いたします。

議会を傍聴して



秋田 和子さん
（漆原東）

我が家の大画面で
議会の傍聴

「仕事があるから、議会の傍聴には行けない」と断ると、「イン

ターネットで議会の録画を見られるから是非見て」と言われ、休暇の日に観てみました。主人と一緒に、テレビ画面に大写しにされた地元議員の一般質問の様子を拝聴。臨場感がタップリと伝わって来て、「うん、そうそう、そこどうなっているか

てまた観よう。身近な生活に関わる議題、身に入ってくる。お家で議会傍聴、「イネ」。

次の人もぜひまた見てくださいね



私生活のこと

健康づくり頑張りましょう



よしおか クイズ No. 118

- 問1 12月定例会の会期は何日間だったでしょうか。
A. 12日間 B. 13日間 C. 14日間
- 問2 老人福祉センターの指定管理者の指定期間は何年でしょう。
A. 5年 B. 10年 C. 15年
- 問3 12月定例会の一般質問の人数は何人が行ったでしょう。
A. 6人 B. 7人 C. 8人

[応募方法]

- はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
- ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。
- 応募先
〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局
- 応募期限 3月1日消印有効
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の方に、図書カードをプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解	問1-C
	問2-C
	問3-C

私生活のこと

さて、この春は、「花と緑のぐんまづくり in 吉岡」が開催されます。たくさんの方が吉岡町に何度も足を運ぶきっかけとなるよう、イベントの成功を心より願っております。

近年、多くの自治体が花の名所づくりに力を入れております。私も夫と各地を訪ねるのを楽しみにしています。また町内を散歩すると、玄関まわりや道路沿いを花で美しく飾っているお宅をたくさん見かけます。吉岡町も花好きの方が多くですね。心理学によると、花を觀賞する事で心身のリフレッシュになるほか、犯罪を減らす効果も考えられるそうです。



石関 恵美さん (南下)

吉岡町が花の街に!

視察の受入 ~ともに研修~

県外から吉岡町議会へ視察に訪れました。

とき	訪れた町村	視察内容
10月26日	愛知県東浦町	議会だよりの編集について



皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は3月上旬を予定しています。会議は9時30分から始まります。ぜひお越しください。詳しい日程などは広報よしおか3月号に掲載されます。また、まちホームページでもお知らせします。

表紙の写真

県内最初の再生エネルギー使用の風力発電が、よしおか温泉の公園の、南にあります。ポールの高さは41.5メートル、羽根の直径は30メートル、発電能力は、300キロワット。この電力は、一般家庭の使用電力の100件分近くになります。詳しいことは、現地に行ってみてください。

一緒に成功させましょう



いにしえ
キラリよしおか古語り ⑪



三宮神社で七五三



吉岡町大字大久保字宮一番地には、三宮さんのみや神社が鎮座しています。750年(天平勝宝2年)創建。祭神は彦火々出見命、豊玉とよたま姫命、少彦名命の三神。

古くには、上野国三宮は伊賀保大明神(伊香保神社)とあり、当時榛名山を伊賀保山と呼び、その山頂を祖霊降臨の聖地とあおぎ、ふもとに里宮を造りました。上野国神名帳には、伊賀保神が5社あり、その中心を正一位三宮伊賀保大明神と記されています。当社は伊賀保神を祭る里宮の中心地であったため、三宮の名が伝えられました。

また、当社は古来より、十一面観音が御神体。南北朝時代の書物によると、「伊賀保神は男体女体の二神あり、男体は伊香保

吉岡町大久保一番地

の湯を守る薬師如来で、女体は里に下り十一面観音となる」とあります。慶應4年神仏分離令にて、全国各地で神社内の仏像が壊されましたが、当時の人々は秘仏として守り、今日に伝えています。

当社は神官が絶えて久しいですが、氏子・榛東村の宮司に守り継がれ、初詣や4月第1日曜日の春祭りには、獅子舞・太々神楽・屋台囃子で賑わいを見せています。また久しぶりに、地域の神様に子どもの成長を見守ってもらいたいと、七五三の宮参りがあり、お祓いを受けました。健やかな成長を見守ってくれることと思います。

参考：三宮神社由来記

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、認知症の人を地域で支える、元気になるカフェ一号店「元氣カフェ」が、10月に明治地区に、2号店「よしおかロバロバ」が、12月にオープンしました。

また今年は、吉岡町の最大のイベント「花と緑のぐんまづくり」2018 in 吉岡が、4月14日(土)から5月13日(日)の1カ月間にわたり開催されます。大成功することを願うばかりです。

編集委員一同は、町民の皆様に分かりやすく、読みやすい議会だよりをお届けしたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いたします。

(高山 武尚)

編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 金谷 康弘 |
| 副委員長 | 村越 哲夫 |
| 委員 | 高山 武尚 |
| | 竹内 憲明 |
| | 五十嵐 善一 |
| | 大林 裕子 |
| | 富岡 大志 |